

HOBIA NEWS No.336

目次

- HOBIA 平成29年度通常総会・例会開催のご案内
- 平成29年度バイオインダストリー振興団体全道会議報告
- お知らせ

● HOBIA 平成29年度通常総会・例会開催のご案内

日時 平成29年6月22日(木) 理事会 11:00 ~ 12:00
総会 13:00 ~ 14:00
例会 14:15 ~ 17:00
交流会 17:30 ~ 19:00

場所 北海道大学 百年記念会館 大会議室 (札幌市中央区北9条西5丁目)

HOBIA 第124回例会

HOBIA 平成29年度通常総会に引き続き 北海道大学 百年記念会館 大会議室にて開催

【講演1】14:15~15:30

『北海道から発信する農業イノベーション ~ ロボット農業の幕開け』

北海道大学大学院農学研究院 ビークルロボティクス研究室 教授 野口伸氏

【要旨】日本農業は高齢化、担い手の減少など労働力不足が深刻な状況にあります。強い日本農業を実現するためにイノベーションが求められており、いよいよロボット農機の社会実装が始まります。本講演では農業のロボット化の現状と今後の方向を解説します。

休憩 15:30~15:40

【講演2】15:40~16:55

『バイオが拓く医療革新』

一般財団法人 バイオインダストリー協会 事務局長 黒井正雄氏

【要旨】遺伝子工学の発展によって1982年世界初の遺伝子組み換え医薬品のヒトインスリンが上市されて爾来35年、インターフェロン、エリスロポエチン等蛋白製剤から昨今の抗体医薬まで医療分野で著しくバイオが応用、製品化されている。抗体医薬を中心に、最新の技術革新によって従来は不可能であった標的分子への応用の可能性が示され、種々の難治性疾患への適応の広がりつつある。生産・精製に関わる新規技術も含め現状について述べたい。

- 参加費 HOBIA 会員 無料、 非会員 1,000円

17:30 ~ 19:00 交流会 (参加費 4 千円)

会 場： 札幌アスペンホテル 2 階 メイプル

(札幌市北区北 8 条西 4 丁目 011-700-2111)

● 平成 29 年度バイオインダストリー振興団体全道会議報告

2017 年 4 月 27 日 北海道大学学術交流会館にて

全道のバイオ関連団体から情報を集めて互いに利用を図り、困りごとなどの情報交換も行う集いです。各地の情報を要約いたしました。

1) 経産局バイオ産業課

「医療機器分野への産業支援」

医療機器開発支援ネットワーク(医療研究開発機構 AMED)を組織して医工連携を進めている。医工連携出会の広場として学会で展示して医療関係者との交流を促進する。

「地域経済けん引事業計画」

企業と自治体で省庁横断型の地域活性化策が提案予定。種を考慮しておく。 地域未来投資促進法案として、企業立地法の改正がスケジュール化している。

「スマートセルインダストリー」

生物でもの作り。微生物でセルロース(北大田島教授、草野作工(株)) 募集中の「サポイン事業」も利用してほしい。

2) 北海道経済部食産業関連室

ヘルシーDoの認定は、41社78品目(H29.3月現在)に至った。制度の道民の認知度は30%ともう少し伸びてほしい。ヘルシーDo商品で一番売り上げているのが「カスピ海ヨーグルト」。ヘルシーDoがつくと「価格のダンピングに負けなくなった」これが一番大きいメリットだった、との認定企業の声。

道としては制度の宣伝を続けてゆく。北海道情報大学でのヒト介入試験をより利用しやすい環境へと整備してゆく。同大学は、2016文部科学大臣賞および2016北海道科学技術賞を受賞した。

3) 旭川バイオテクノロジー推進懇話会

関係者の集まった定期的なバイオ勉強会は、続けている。米どころから大麻の栽培による麻繊維の生産を目指している人たちがおり北見農業試験所とも連携をとっている。おからの利用も進んでいる。

4) 函館地域産業振興財団

紅藻の培養と利用では、受託厚労省事業の受託もうけて地域の産学官の連携を進め北大も入れてコンソーシアム化して進めている。ベビーリーフ昆布の陸上培養、水面権や漁業権と関係なくなる。研究開発の取り組みは、例年通り10テーマを進めており、うち4つが食品バイオ関連。企業からの個別の要望に応じた研修も20件以上対応した。バイオ系6名の研究員。

5) オホーツク財団

発酵拠点になっていきたい。具体的には、酢酸、乳酸菌、酵母(パン、アルコール飲料)発酵など。試験醸造免許が取れたので「発酵」をコアとしたセンターを目指したい。「発酵微生物酵素研究会」など産学官の勉強会を行っている。

販路開拓も行っており、オホーツク豆の「豆フェスタ」を開き需要拡大を図っている。

HOBIAとの地域バイオ育成講座では、ヘルシーDoでは、素材を入れた食品で認可がとれることを知れたのは良かった。食品衛生の講習会など実施し、食品加工相談は490件であった。東京農業大学生物生産学部と包括連携協定を締結し、産学官のネットワークへと拡大した。

6) とかち財団

食品加工技術センターでは、ナチュラルチーズの賞味期限の設定方法、小豆の多糖類、輸指向けの賞味期限、地域の水などがおもな研究テーマである。マーケットを意識したものづくりを行い売れるものづくりを軸にして活動している。地域の70企業に個別技術指導を行い、専門性の高いセミナーとして微生物講習、ナチュラルチーズ技術などを実施した。産学官連携としてヒューマンネット十勝などの組織活動を行い地域の知恵と技術を交流し高めている。

7) 釧路工業技術センター

根釧は、牛乳が重要な産品で、チーズの製造も活発になってきた。高性能 GCMS を導入して国内外のナチュラルチーズの香気成分を比較した。オランダ産3年熟成チーズは調べた内外チーズの中で突出して異なっていた。国産チーズは似た香りが多かった。チーズの香りに影響を与える要素は、生乳の殺菌の有無、スターター乳酸菌の種類、そして熟成条件によるといわれている。個性的なナチュラルチーズを根釧地域で作るためにさらに香気成分分析と製造の関係性を解明してゆく予定である。

お知らせ

■ カナダの食品、農業、バイオ関連企業の来道のご案内

カナダ企業の説明会およびビジネスマッチング 開催

日時：5月22日(月) 13:00より

会場：在札幌カナダ名誉領事館

ブリティッシュコロンビア州およびオンタリオ州の企業約5社が、政府系投資会社 Bio Enterprise 社の取締役 Joseph Regan 氏の引率により来道。

参加お申込は、ノーステック財団 新事業推進室まで

TEL 011-716-9168 FAX 011-708-6529

■ 市民講座「自分らしく生き抜く力を養う」のご案内

日時：6月22日(木) 13:30 ~ 15:30 参加：無料

会場：札幌市教育文化会館 小ホール(中央区北1条西13丁目)

テーマと講師 順不同

- ・「加齢に伴う体の変化について」 北海道大学 理事・副学長 医学研究科教授 笠原正典氏
- ・「諸行無常を生きる、今何為すべか」 札幌大谷大学 前学長 巖城孝憲氏
- ・「高齢者同士の共助」 北星学園大教授 田辺毅彦氏
- ・「介護の段階大変さと健康寿命の重要性」 社会福祉法人宏友会 菊地伸氏

主催：一般社団法人シニア社会学会北海道部会

(弁護士法人 小寺松田法律事務所内 011-281-5011)

共催：一般財団法人材支援機構、 後援：札幌市教育委員会

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会

札幌市北区北21条西12丁目コラボ北海道内

Tel&Fax (011) 706-1331

e-mail: jimu@hobia.jp